

【評定の基準】

A:全て◎ B:全て○以上 C:1つでも△がある

【アンケートの評価基準】

◎:8割以上が肯定 ○:6割以上が肯定 △:6割未満が肯定

【アンケート】

4 たいへんよい 3 よい 2 あまりよくない 1 よくない

項目	小項目(重点目標)	評価指標及び目標値	評定	評価資料	評価	アンケート結果				学校による考察・改善方策
						4	3	2	1	
知・徳・体を育てる教育の推進	1 確かな学力を育てる教育の推進	(1) 教師は、学習課題を明確にし、学力向上を目指して、一人一人に応じた指導を中心に「分かる授業」の実践に努めているか。	A	児童アンケート 保護者アンケート 教職員アンケート	◎ ◎ ◎	90% 83% 100%	10% 17% 0%	0% 0% 0%	0% 0% 0%	昨年度同様、高評価を得られた。少人数のよさを生かし、児童の実態を的確に把握し、一人一人に応じたきめ細かな指導を行っている。また、朝ドリルの時間に、全教職員で個別指導を行い、基礎的・基本的な計算技能を高めたり、全校児童のつまずきや苦手領域を全教職員で把握し、指導の工夫・改善につなげたりしている。今後は、授業中の様子や単元テストの結果から、個々の児童が苦手とする領域を特定し、苦手領域の克服に努めていきたい。
		(2) 学校は、家庭と協力し、子供たちに家庭学習の習慣を身に付けさせているか。	A	児童アンケート 保護者アンケート 教職員アンケート	◎ ◎ ◎	33% 39% 100%	57% 44% 0%	10% 17% 0%	0% 0% 0%	自分自身の生活習慣を振り返る取組として、毎月「がんばりカード週間」を設けている。また、自ら学ぶ意欲の向上と学習習慣の定着を目指し、家庭学習ノートの取組も継続している。この取組は、学級担任がそれぞれに工夫しながら、よりよい家庭学習が行えるように働きかけることで成果が上がっていると考える。アンケートでは、教職員の評価が昨年より高くなっているが、低い評価の保護者と児童がいる。全ての児童に学習習慣が身に付くように、分かる喜びを味わわせながら、家庭との連携を工夫して学習習慣の定着を図りたい。
		(3) 新聞や読書等を通じて、文章を読む習慣が身に付いているか。	B	児童アンケート 保護者アンケート 教職員アンケート	◎ ○ ◎	52% 22% 25%	19% 39% 50%	24% 28% 25%	5% 11% 0%	今年度も朝読書を行っている。朝読書の時間には週1回、読み語り隊の方々による読み語りが行われ、活動が充実している。また、お薦めの本の紹介を児童全員と全教職員でリレーする活動を行った。昨年度と変わらずB評定で評価が低い。定期的に親子読書週間を設定し、「親が子に読み聞かせる」「子が親・兄弟に読み聞かせる」「場や時間を共有してそれぞれ別の本を読む」「別々の本を読み、感想を共有し合う」「1冊の本を各自で読んで感想を共有し合う」など、様々な方法を紹介していきたい。
	2 豊かな心を育てる教育の推進	(1) 学校、家庭は、友達や先生、地域の方々への心こもった挨拶ができる児童を育てているか。	A	児童アンケート 保護者アンケート 教職員アンケート 地域住民アンケート	◎ ◎ ◎ ◎	76% 83% 50% 86%	24% 11% 25% 11%	0% 6% 25% 3%	0% 0% 0% 0%	全体的に、昨年度より評価が高くなっている。特に地域の方の評価が高い。年度当初から「あ・あかるい声で元気よく」「い・いつでもどこでもだれとでも」「さ・さきに言って(相手より)」「つ・つたえよう、つづけよう」を合い言葉に、よりよい挨拶ができるように声掛けをしてきた。しかし、学校外や来校者への挨拶には課題がある。挨拶が自然にでき、愛顔を広げたい。
		(2) 相手の立場を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性が育っているか。	A	児童アンケート 保護者アンケート 教職員アンケート 地域住民アンケート	◎ ◎ ◎ ◎	48% 78% 75% 64%	43% 22% 25% 36%	10% 0% 0% 0%	0% 0% 0% 0%	全校児童が二人ずつ順番に友達のいいところをカードに書いて掲示する「翠のおくりもの」という活動を行った。また、掲示するだけでなく、校内放送でメッセージを紹介したり、掲示後にカードをつづって一冊の本にして本人に贈ったりした。これらの活動により、自分のいいところだけでなく、日々の自分の頑張りを認めてくれる友達がいることや友達のいいところを知ることができた。今後も道徳科や学級活動の充実、日常の人間関係についての的確で細やかな指導や支援等により、全員が肯定的な評価になることを目指したい。
		(3) 地域の人や自然など、自分の周りの事物に対して、感謝の気持ちをもって関わろうとする心が育っているか。	A	児童アンケート 保護者アンケート 教職員アンケート	◎ ◎ ◎	76% 94% 75%	14% 6% 25%	10% 0% 0%	0% 0% 0%	保護者の4評定が昨年度より20%アップした。多くの体験活動を、たくさんの地域の方の協力や支援により実施しており、それによって充実した学びができています。様々な学校行事で地域の方と顔を合わせる中で、たくさんの方に支えられて活動することができていることを実感している。今後も、関わりが広げられるように挨拶や声掛けなどを推進し、感謝の気持ちを伝えられるように支援していきたい。
	3 健やかな体を育てる教育の推進	(1) 自分の心身の状態に関心をもち、健康を保つために食事、早寝早起き等に留意した規則正しい生活を実践しているか。	A	児童アンケート 保護者アンケート 教職員アンケート	◎ ◎ ◎	62% 56% 50%	29% 33% 50%	10% 11% 0%	0% 0% 0%	今年度も欠席児童が少なく、心身ともに健康状態が良好であると言える。「早寝・早起き・朝ごはん」等の生活の振り返りを定期的に行い、指導に生かしている。帰宅後の過ごし方(家庭学習・ゲーム・習い事等)により、就寝時刻が遅くなる児童もいる。就寝時刻や家庭学習・ゲームの時間等については、各家庭の方針・指導によること大きいので、家庭内でしっかり相談して、規則正しく健康的な生活ができるように、家庭への啓発を続けていきたい。
		(2) 外遊びや業間マラソン、なわとびなどで、めあてを立て、運動を楽しむとともに体力の向上を図ろうとしているか。	A	児童アンケート 保護者アンケート 教職員アンケート	◎ ◎ ◎	71% 72% 50%	14% 28% 50%	14% 0% 0%	0% 0% 0%	保護者の4評定が昨年度より20%アップした。翠小独自の「ピカイチ体育」に取り組んでいる。「ピカイチ体育」では、様々な種目で自分に合っためあてを立てて取り組んでいる。今年度は活動がマンネリ化しないように、児童の実態を考慮した上で、種目を改善した。また、業間マラソンや、県が企画する「ITスタジアム」に合わせて8の字ジャンプ等の縄跳びにも挑戦している。今後も活動を工夫・充実させ、児童の運動への意欲を高めていきたい。
		(3) 身の回りの整理整頓、正しい言葉づかい、時間を守ることなど、基本的な生活習慣が身に付いているか。	A	児童アンケート 保護者アンケート 教職員アンケート	◎ ◎ ◎	33% 44% 25%	62% 50% 75%	5% 0% 0%	0% 6% 0%	保護者の4評定が昨年度より20%アップした。6月の学校保健委員会には、伊予市こども家庭センターから講師を招いし、親子で生活リズムについて学んだ。生活リズムを振り返り、元気に過ごすためにはどうすればよいのかを考える機会になった。児童の心身の健康は、正しい生活習慣が基盤となることから、各家庭の意識が更に高まるよう、これからも継続して手立てを講じていきたい。

項目	小項目 (重点目標)		評価指標及び目標値		評定	評価資料	評価	学校による考察・改善方策					
生徒指導・人権・同和教育・特別支援教育	4	生徒指導	(1)	子どもは親へ、親は子へ、積極的に話しかけ、互いの話を十分に聞いているか。	B	児童アンケート	○	57%	14%	29%	0%	保護者と児童の回答にずれがあり、児童の方が低い評価であった。児童・保護者ともに互いの話を十分に聞けていないという回答が気になる。各家庭での団らんの場合、話しやすい雰囲気は、保護者主導で上手につくっていただきたい。そして、児童の心に寄り添い共感するとともに、自分は家族から愛されているという自己肯定感を持てるようにしていただきたい。	
						保護者アンケート	◎	67%	28%	6%	0%		
	(2)	学校は、「みどりの会」などで地域と生徒指導上の情報を共有し、連携して生徒指導にあたっているか。	A	教職員アンケート	◎	100%	0%	0%	0%				
	5	人権・同和教育	(1)	自分のよさや他人のよさを認め合い、支え合う仲間づくりができていますか。	A	児童アンケート	◎	71%	24%	5%	0%		昨年度まで行っていた「翠っ子愛顔のアイコトバ〜みどりの木〜」の反省を生かし、今年度は、「翠のおくりもの」という活動を行った。全体的には高い評価であるが、低い評価をしている児童が感じている問題点が解決できるように取組を継続していく必要がある。自尊感情を育む指導や、互いを思いやり、尊重し、心のつながりを感じることでできる学級経営を推進するとともに、いじめを生まない学校風土を醸成していきたい。
						保護者アンケート	◎	78%	22%	0%	0%		
教職員アンケート						◎	75%	25%	0%	0%			
6	特別支援教育	(1)	学校は、校内委員会を適宜開き、教職員の共通理解と協力体制のもと、適切な支援ができていますか。	A	教職員アンケート	◎	100%	0%	0%	0%	毎月の職員会議の際、児童一人一人を見つめた課題や指導の成果を話し合う場を設けている。全ての教職員が発言し、情報交換をしながら共通理解を図ることで、全教職員が同じ意識で指導や支援に当たることができている。時には臨時に話合いの場を設け、対応策を検討している。今後も外部の特別支援教育巡回相談員との連携も図りながら、一人一人を大切にすきめ細やかな指導や支援を心掛けたい。		
安全管理・施設設備	7	安心・安全な学校づくりの推進	(1)	学校は、校内及び通学路の安全点検や避難訓練を適切に実施し、地域とも協力して児童の安全確保に努めているか。	A	教職員アンケート	◎	100%	0%	0%	0%	毎月安全点検を実施し、改善が必要な箇所については速やかに対応している。通学路の点検は、登下校の指導時に行うとともに、保護者とも連携し、多くの人の目で点検を行った。避難訓練は、災害発生時に児童自らが判断し、適切に行動をとることができることを目指して行っている。今後も、児童の安全を第一に考えた取組をしていきたい。	
			(2)	学校は、施設・設備、教材・教具が効果的に活用され、環境整備に配慮しているか。	A	保護者アンケート	◎	78%	22%	0%	0%		
						教職員アンケート	◎	100%	0%	0%	0%		
地域住民アンケート	◎	66%	34%	0%	0%								
研修	8	教職員の資質と指導力の向上	(1)	教師は、授業改善に努め、その都度反省・評価をし、授業に生かそうとしているか。	A	教職員アンケート	◎	100%	0%	0%	0%	今年度は、授業や家庭学習で、一人1台端末を積極的に活用したことにより、課題に意欲的に取り組む児童が増えた。自分の考えを表現することに苦手意識のある児童に対しても、一人1台端末を活用することで、主体的に取り組む姿勢が見られた。「ICT機器を効果的に活用した対話的な学習」「テスト等の結果を生かした学習」等、学校全体で共通理解を図りながら、本校の研究主題でもある「共に学ぶ喜びを味わい、主体的に取り組む児童の育成」に向けて、授業改善に取り組んできた。	
保護者・地域住民との連携	9	開かれた学校づくりの推進	(1)	学校は、公民館や老人会など、関係団体との連携に努めているか。	A	保護者アンケート	◎	89%	6%	0%	6%	ふるさと交流会や学習発表会など、様々な学校行事を行う際、地域の方や公民館、関係機関等に案内を出したり協力をお願いしたりしており、多くの方が本校児童のために積極的に協力してくださっている。また、ほたる祭りや公民館祭りなどの地域行事に積極的に参加することで、児童にはふるさとを大切にしていこうという気持ちが育っている。交流活動を工夫し積極的に連携することで、よりよい交流を図っていききたい。	
						教職員アンケート	◎	100%	0%	0%	0%		
						地域住民アンケート	◎	76%	18%	6%	0%		
			(2)	学校は、学校(学年)だより、保健だより、PTA広報紙、ホームページなどで、学校の情報を積極的に発信しているか。	A	保護者アンケート	◎	89%	11%	0%	0%		
						教職員アンケート	◎	100%	0%	0%	0%		
						地域住民アンケート	◎	89%	11%	0%	0%		
	(3)	学校は、個人情報適切に管理するとともに、その公開に対しては十分に配慮しているか。	A	保護者アンケート	◎	100%	0%	0%	0%				
				教職員アンケート	◎	100%	0%	0%	0%				
				地域住民アンケート	◎	69%	31%	0%	0%				
	10	地域に根ざした特色ある教育活動の推進	(1)	学校は、地域の自然や文化、人材など地域資源を生かした体験活動を進めているか。	A	保護者アンケート	◎	94%	6%	0%	0%	米や麦の栽培活動、しめ縄づくりなど、地域の方の協力を得て体験活動を行った。また、伊予市生活研究協議会の会員の方をお招きして「食文化普及講座」を行った。児童は、地域の農林水産物を活用した伝統的な料理を知り、おいしくいただいた。2学期の校外学習では、毎年恒例の地域巡り(みどりカントリーアドベンチャー)を行った。今後、地域の協力者(ゲストティーチャー)が一人でも増えるように、様々な機会に積極的に声掛けを行っていききたい。	
教職員アンケート						◎	100%	0%	0%	0%			
地域住民アンケート						◎	81%	19%	0%	0%			
学校関係者評価委員の総評					<p>翠小学校は、少人数ながらもPTA活動や地域活動が熱心で、先生方の御負担も大きい中、子供たちの指導に全力を注いでいただいていることに感謝している。また、県内の学校でも、現役最古の木造校舎の学校を誇りにして、特長ある活動を活発に行い、多くの成果を挙げられていることに対し、敬意を表す。学校へ行くたびに、元気な子供たちの姿に感動している。子供たちが、健全に育つためには、先生方の心身ともに健康が絶対条件である。働く時間の短縮だけでなく、子供たちや御自身のためになる働き方を目指していただきたい。地域の方々は、先生方の働きをよく見ている。</p> <p>今年度の学校評価の結果では、学習習慣の定着について、教職員の評価が高くなっているが、児童や保護者の回答は、学習習慣の定着、新聞や読書等文章を読む習慣とともに、二極化していることが気になる。学校は、全ての児童に学習習慣が身に付くように、分かる喜びを味わわせながら、家庭との連携を工夫して学習習慣の定着を図っていただきたい。また、新聞や読書等文章を読む習慣については、学校で様々な取り組みを行っていただいているが、昨年同様にB評定である。読書への関心が少しでも高まるように工夫していただくのはもちろんだが、新聞がない家庭も多くなっているため、今の時代に即した評価項目を設定する必要があるのではないか。</p> <p>豊かな心を育てる教育は、全てA評価で、大変すばらしく思う。年々校区外から通う子が増えているが、「僕は私は、翠の子」と自信を持って言える思い、卒業しても「ふるさと翠」に帰るといふ思いを育てていただきたい。</p> <p>地域の方からの回収率は78%と高水準を保つことができおり、翠小学校の教育活動に注目していることが分かる。今後も地域の方に関心を持っていただき、地域に根ざした翠小学校を目指して、工夫・改善・努力をしていただきたい。</p>								